

第 回日本潰瘍学会 演者の COI 申告書

演者氏名(共同演者含む全員記載) ※発表責任者に◎
演者所属
講演名

上記講演に関連して、開示すべき COI 関係にある企業等を項目ごとに記載する
(抄録登録時から遡って過去1年間の COI 状態を申告)

※発表責任者(筆頭発表者または Corresponding Speaker)がとりまとめて COI 申告を行うこと

(共同演者を含む全ての演者の合計額ではなく、演者個々人の COI 状態で規定額を超えた者がいる場合は申告対象)

項目	該当の状況 (有・無一方に○)	有の場合、企業・団体名の記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
② 株の保有と、その株式から得られる利益 (最近1年間の本株式による利益) (1つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
③ 企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬 (1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表、助言等)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料等の報酬 (1つの企業・団体からの講演料が年間合計50万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	

<p>⑤ 企業や営利を目的とした団体がパンフレット等の執筆に対して支払った原稿料 <small>(1つの企業・団体からの原稿料が年間合計 50 万円以上のものを記載)</small></p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費 <small>(1つの企業・団体から医学系研究(共同研究、受託研究、治験等)に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金の総額が年間 100 万円以上のものを記載)</small></p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学(奨励)寄附金 <small>(1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る寄附金の総額が年間 100 万円以上のものを記載)</small></p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑧ 企業等が提供する寄附講座 <small>(企業等からの寄附講座に所属している場合に記載。実質的に用途を決定し得る寄附金の総額が年間 100 万円以上のものを記載)</small></p>	<p>(本人) 有・無</p>	
<p>⑨ その他の報酬(研究、教育、診療とは直接に関係しない旅行、贈答品等) <small>(1つの企業・団体から受けた報酬が年間5万円以上のものを記載)</small></p>	<p>(本人) 有・無</p>	

※(親族)・・・配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

(本 COI 申告書は講演後 2 年間保管されます)

(申告日)西暦	年	月	日
---------	---	---	---

演者自署(発表責任者)	
-------------	--

提出先: 一般社団法人日本潰瘍学会事務局

Email ulcer-research@kyoto-info.com / FAX 075-231-3561